

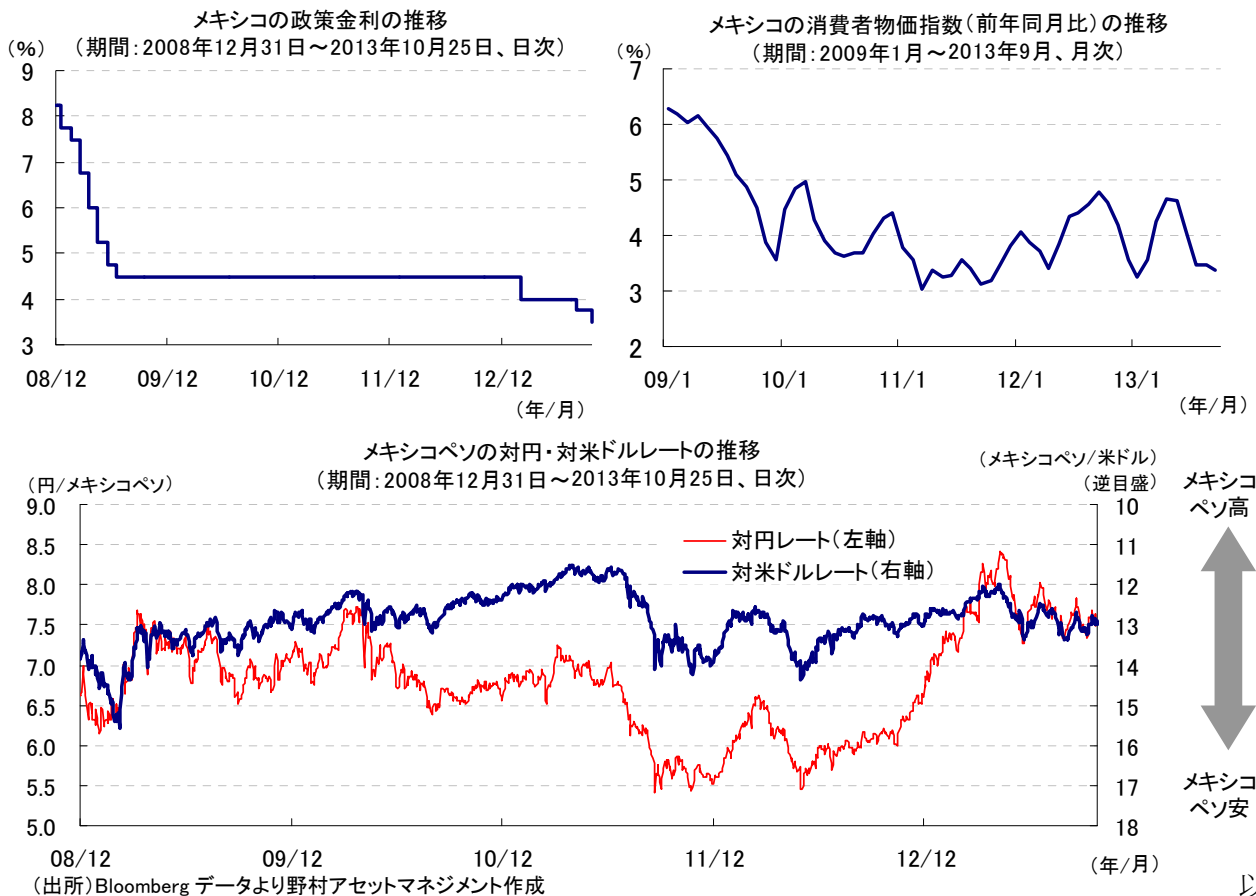
10月25日発表のメキシコの利下げについて

2013年10月25日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合において、市場予想通り、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レート（O/Nレート）を0.25%引き下げ、年率3.50%とすることを決定しました。同中銀は2回連続で利下げを実施しており、金利は過去最低水準となります。

利下げの目的には、国内景気の下支えがあります。最大の貿易相手である米国の債務上限問題が長引き、需要減退が懸念されています。また、9月のハリケーンによる被害や、昨年12月の政権交代に伴う公共投資の執行の遅れなどを受け、政府は9月に今年の実質GDP（国内総生産）成長率見通しを、従来の+3.1%から+1.7%に引き下げました。

一方で、同中銀は声明で景気底入れの徴候が出ていることなどから「一段の利下げは推奨できない」としており、追加利下げ観測は遠のいています。また、米国における量的緩和縮小懸念が後退したことで、「利下げに伴ってメキシコペソが下落し、インフレ率が上昇する」という心配は少なくなったとの見方もあります。さらに、メキシコ景気の減速は一時的との見方が多く、IMF（国際通貨基金）も2014年の実質GDP成長率が+3.0%に持ち直すとみています。

10月25日の外国為替市場では、金融政策発表後にメキシコペソが上昇し、対円で前日比0.8%、対米ドルで同0.7%のメキシコペソ高となりました。次回の金融政策決定会合は2013年12月6日の予定です。



（出所）Bloomberg データより野村アセットマネジメント作成

以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。